

い k i i k i LIFE エイジングマガジン みやぎ 春号 SPRING

2013年3月20日発行

発行 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2-3
TEL.022-223-1171 FAX.022-223-1151
ホームページ <http://www.miyagi-sfk.net/>
(※トップページの「広報」で紙面を閲覧できます)

企画編集 河北新報社
協力 宮城河北会

INDEX

- 3-4 宮城シニア美術展
- 5 インタビュー
- 7 体操のページ
- 9-10 宮城いきいき便り
- 11 SUNクラブニュース
- 12 いきいきサロン/短歌/俳句/川柳
- 13 イベント&トピックス/お好みシネマ缶
- 14 ピックアップ
- 15 Q&A

人生の年輪感じる作品並ぶ

第20回 宮城シニア美術展

県内に住む60歳以上のアマチュアから募集した美術作品を展示する「宮城シニア美術展」が、昨年11月29日から12月2日まで、県美術館県民ギャラリーで開かれた。日本画・洋画・書・写真・工芸の5部門、計184点。いずれも力作ぞろいで、人生

の年輪を感じさせる味わい深い作品が多く、来場者に夢や感動を与えた。各部門の最優秀・優秀作品は、10月に高知県で開催される「ねんりんピックよさこい高知2013」の美術展部門に県代表として出品される。入賞作品を紹介。

最優秀賞



日本画
「竹林の朝」

仙台市若林区 三浦越夫さん (74)



東日本大震災で半壊した自宅の補修が終わり、心に余裕ができたときに描いた作品です。太白区の道祖神社で、顔を出したばかりのタケノコが太陽の光に照らされているのを見て、強い生命力を感じました。震災で落ち込んでいた私に元気をくれた風景。この絵を見た人にも、そう感じてもらえたらうれしいですね。



写真
「出番前の乙女たち」

仙台市青葉区 高橋こうけんさん (82)



月に一度ほど、宮城県内の祭りを撮影しに出掛けています。写真は、石巻市の「ものうふれあい祭り」のときのもの。はねこ踊りの出番を待つ子どもたちが、恥ずかしがってかざした日の丸の扇子が作品に味を出してくれました。このような最高の一瞬が撮れると「また頑張ろう」という活力になります。